

見 積 依 頼

平成 29 年 8 月 25 日

大槌町町方地区震災復興事業 事前資料提出各位

前田・日本国土・日特・パスコ・応用地質
大槌町町方地区震災復興事業共同企業体
統括管理技術者 小島 靖雅
電話 0193-41-1155
Fax 0193-41-1156
担当者 赤崎 博行

1. 工事名 町方地区公共下水道流末幹線既設管充填工事
2. 工事場所 岩手県上閉伊郡大槌町上町他
3. 工 期 契約日 から 平成 29 年 12 月 22 日
4. 工事概要 排水工事（構造物撤去） 1 式、

見積内容 別紙見積明細書、図面等による

見積期限 平成 29 年 9 月 7 日 10:00

（見積と同時に、配置予定技術者の経歴書・公告資料内の宣誓書・誓約書・保有資格者数自己申告書を提出すること。宣誓書・誓約書の提出により標準点を与える。）

支払は、URと企業体間で行うオープンブック方式に準じて原価を開示する。そのため、選定された業者と企業体間で見積書について単価内訳まで協議をおこない、原価開示の基礎資料とする。

5. 最低落札率

予定価格の 85%を下回る場合は失格とする。

6. 支払方法

- ・ 出来高の支払は、見積書による数量、単価でなく実際に発生した原価を照査し支払う。
- ・ 共通仮設費は、特記仕様書による共通仮設について実際に発生した原価を照査し支払う。
- ・ 毎月発生した原価の証拠書類を提出することを求める。

7. 見積条件

（共通仮設費について）

- ・ 共通仮設費の項目は各社検討し積算すること。

(現場管理費について)

- ・現場管理費の項目は各社検討し選定すること。ただし、現場への通勤については交通量削減のため、マイクロバス等を利用し集団で移動することを計画すること。

(産業廃棄物について)

- ・本工事において、産業廃棄物の処分費及び運搬費は、見積り計上していない。

8. 参加資格

以下の要件を満足すること。

参加企業に関する要件	建設業許可(一般土木事業)を取得している企業
------------	------------------------

なお、配置予定技術者の工事経歴を応札時に合わせて提出すること。

(体裁は、自由とし会社で証明すること。)

9. 専門業者の選定方法

(1) 評価の方法

- ① 評定点の算定方法は加算方式とし、以下により行う。

評価点 = 標準点 + 企業評価点

評価値 = 評価点 + 見積価格点

※見積価格点は予定価格を10点、失格基準額を35点として、
見積額をその中で按分して算出する。

- ② 宣誓書・誓約書を提出したものに標準点30点を与える
- ③ 企業評定点の評価項目、及び評価内容は以下のとおりとする。

	評価内容	評価点
地元企業性の判定	①商業登記簿謄本等の公的書類により、本店・本社所在地を確認し、地元企業性を判定 ②地元企業優先度の確認	15点
業務遂行能力	① 予定業務の規模に応じた実績 ② 予定業務を実施するための専門性 ③ 労務、機械等の調達能力 ④ 配置予定技術者の実績	5点
地元精通度	① 大槌町における業務実績 ② 大槌町に関する情報精通度	15点
		計 35点
価格	① 見積価格及び単価を含む内訳の適正さ ② 使用する積算基準の適正さ	

(2) 専門業者の決定方法

本件への参加を希望する者は、指定された期日までに見積書を提出すること。

前項の評価方法によって得られた評価値の最も高いものを契約候補者とするものとし、必要に応じ

てヒアリングを行った後、専門業者を決定するものとする。

尚、入札額が予定価格の85%を下回る場合は失格とする。

ただし、契約候補者となるべき者により当該契約の内容に適した履行がなされないおそれがあると認められるとき、又はその者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すこととなるおそれがある著しく不相当であると認められるときは、予定価格の制限の範囲内で、大槌町町方復興CMrの求める最低限の要件を全て満たした者のうち、評価値の最も高い者を契約候補者とするところがある。

見積は、メールにて、ご提出をお願いいたします。

(メール宛先 : construction@otsuchi-marpcmr.com)